

平成25年教育委員会の主な動き

月	項目	課名
1月以降	「神々の国しまね」プロジェクト最終年。県教委も「平成の大遷宮 出雲大社展」を開催するなど引き続き様々な取組を推進。	義務教育課 文化財課
2月	「島根県スポーツ推進計画」の策定	保健体育課
3月	県立高校の分校等の廃止	高校教育課
4月	新大型水産練習船「神海丸」の竣工	高校教育課
4月以降	特別支援教育を充実するための取組の推進	特別支援教育課
4月以降	児童生徒の生命・安全に関わる問題等に対する取組の推進	子ども安全支援室
5月	全公立学校で「人のいる学校図書館」が実現	高校教育課 特別支援教育課 義務教育課
9～12月	古代歴史文化賞の創設、決定と全国への情報発信	文化財課
10月以降	次期「しまね教育ビジョン21」の策定	総務課
10月以降	高卒就職希望者の内定率、リーマンショック前に回復	高校教育課
12月	島根県社会教育委員の会による提言	社会教育課
通年	離島・中山間地域の高校と町村が連携し、魅力と活力ある学校づくりの取組を推進	高校教育課
通年	スポーツや文化活動で若者が活躍	保健体育課 社会教育課

平成25年島根県教育委員会の主な動き

項 目	説 明
<p>「神々の国しまね」プロジェクト最終年。県教委も「平成の大遷宮 出雲大社展」を開催するなど引き続き様々な取組を推進。</p> <p>(1月以降) 【義務教育課】 【文化財課】</p>	<p>○1月に県内各地の歴史や文化を深く学習できるようにするため、ふるさと読本「もっと知りたい島根の歴史」と「『いずも神話』朗読CD」を制作し、県内全小・中・特別支援学校等に配布した。</p> <p>○9月に実施した第3回神話絵画コンクールには、小・中学校106校から915点の応募があり、県内9会場で作品展を開催した。</p> <p>○古代出雲歴史博物館では、出雲大社の遷宮の歴史と今日まで伝わる貴重な文化財を紹介する特別展「平成の大遷宮 出雲大社展」を開催した。また、昨年以降の古事記編纂1300年や神話博しまねの効果もあり、入館者が大幅に増加し、開館から6年余りで200万人を突破した。</p>
<p>「島根県スポーツ推進計画」の策定</p> <p>(2月) 【保健体育課】</p>	<p>○豊かで活力のある生活を営む上でスポーツは不可欠のものであり、県民の多くが主体的に健康で豊かなスポーツライフを送ることができることを目指し、「島根県スポーツ推進計画」を策定した。</p> <p><計画の目標> 「スポーツの楽しみ・感動を通じて活力ある地域づくり」</p>
<p>県立高校の分校等の廃止</p> <p>(3月) 【高校教育課】</p>	<p>○県立学校では、生徒数の減少及び宍道高等学校の設立に伴い、分校2校を廃止するとともに、定時制課程、通信制課程をそれぞれ1つずつ閉課程とした。</p> <p><閉校> 松江南高等学校宍道分校 浜田高等学校今市分校</p> <p><閉課程> 松江北高等学校（通信制課程） 出雲高等学校（定時制課程）</p>
<p>新大型水産練習船「神海丸」の竣工</p> <p>(4月) 【高校教育課】</p>	<p>○県内の水産高校が使用する新大型水産練習船「神海丸」（699トン）の竣工式を、4月12日にマリンプラザしまね（松江市島根町）において行った。</p> <p>○この「神海丸」は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により大きな被害を受けた宮城県石巻市の造船所（株）ヤマニシで建造され、震災後ヤマニシで初めて建造された復興一番船となった。船体には生徒たちの思いを込め、島根と東北を結ぶ「絆」をイメージした島根、岩手、宮城、福島の色を使用している。</p>
<p>特別支援教育を充実するための取組の推進</p> <p>(4月以降) 【特別支援教育課】</p>	<p>○特別支援教育の充実を図るため、高等学校に在籍する発達障がいのある生徒が社会性を身につけるための指導を行う「高等学校ソーシャルスキルトレーニング担当教員」や、各小・中学校の特別支援教育コーディネーターに相談・助言を行う「特別支援教育スーパーコーディネーター」を配置した。</p>

<p>児童生徒の生命・安全に関わる問題等に対する取組の推進 (4月以降) 【子ども安全支援室】</p>	<p>○いろいろな事案に迅速かつ的確に対応するため、体制を整備した。(「生徒指導推進室」から「子ども安全支援室」に室名を変更し、スタッフを1名増員) ○「アンケートQU」の対象を小学1年生から高校2年生に拡充するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充した。 ○「いじめ等対応アドバイザー」を新たに配置し、学校ネットパトロールを開始した。 ○9月の「いじめ防止対策推進法」の施行、10月の文部科学省による「国いじめ防止対策基本方針」を受け、県でも「県いじめ防止対策基本方針(仮称)」を策定する予定である。</p>
<p>全公立学校で「人のいる学校図書館」が実現 (5月) 【高校教育課】 【特別支援教育課】 【義務教育課】</p>	<p>○平成21年度より学校司書等を配置する市町村に対して財政支援を行い、全ての市町村立小中学校で「人のいる学校図書館」を実現することができた(5月配置計画申請時点)。併せて、全ての県立学校にも学校司書を配置した。</p>
<p>古代歴史文化賞の創設、決定と全国への情報発信 (9～12月) 【文化財課】</p>	<p>○古代歴史文化賞を今年度から創設し、第1回の大賞及び地域賞が9月に決定された(島根県・三重県・奈良県・宮崎県共同)。 ○決定後、11月には東京で、12月には松江で受賞者による講演や記念シンポジウムを開催し、多くの聴講者の来場を得た。 <受賞作品> 古代歴史文化賞(大賞) 「古代国家はいつ成立したか」 都出比呂志著 古代歴史文化みえ賞 「古事記はいかに読まれてきたかー〈神話〉の変貌」 斎藤英喜著 古代歴史文化なら賞 「道が語る日本古代史」 近江俊秀著 古代歴史文化しまね賞 「古代に行った男ありけり」 関和彦著 古代歴史文化みやざき賞 「古事記を読みなおす」 三浦佑之著</p>
<p>次期「しまね教育ビジョン21」の策定 (10月以降) 【総務課】</p>	<p>○平成16年3月に策定した「しまね教育ビジョン21」の計画期間が今年度末で終了するため、今後の本県の教育の基本理念や施策の方向性をまとめ、県民が一体となって本県の教育を進めることをめざして次期ビジョンを策定することとした。 ○10月に、島根県総合教育審議会に今後を見通した島根県の教育の在り方について諮問を行った。 ○今年度中に同審議会からの答申を受け、それを基に次期ビジョンを策定する予定である。</p>

<p>高卒就職希望者の内定率、リーマンショック前に回復 (10月以降) 【高校教育課】</p>	<p>○平成26年3月県立高校卒業予定者で就職を希望する生徒の就職内定率は79.1%だった(10月末現在の文部科学省調査、前年度同期9.7%上昇、全国第3位)。これは過去10年間で最も高い数値であり、平成20年9月の「リーマンショック」前の水準(平成20年同期78.8%)まで回復、越えるものとなっている。併せて、就職希望者に占める県内希望者割合は徐々に上昇し、77.2%(平成20年同期63.3%)となっている。</p>
<p>島根県社会教育委員の会による提言 (12月) 【社会教育課】</p>	<p>○島根県社会教育委員の会において、ふるさと教育の今後の推進の在り方について、12月に提言を受けた。提言の趣旨・内容を踏まえ、県教育委員会では、ふるさと教育の充実及び一層の推進を図ることとしている。</p> <p><提言の内容></p> <p>①学習内容の関連性や深まりを図ること、②学校を応援する体制づくりを進めること、③島根県内の全ての子どもたちを対象とすること</p>
<p>離島・中山間地域の高校と町村が連携し、魅力と活力ある学校づくりの取組を推進 (通年) 【高校教育課】</p>	<p>○平成23年度に5校でスタートし、平成24年度に3校を加え、現在8校で実施している。</p> <p>○この取組により、地域に魅力化・活性化の気運が生まれ、町村長部局に高校魅力化・活性化につながる取組の動きが出てきたことや、入学生徒数の急激な減少傾向が緩和されつつあること等の成果が現れ始めている。</p>

<p>スポーツや文化活動で若者が活躍 (通年) 【保健体育課】 【社会教育課】</p>	<p>平成 25 年も、スポーツや文化活動で島根の若者が活躍した。 <スポーツ部門> ○全国高等学校選抜大会 (3月) ホッケー男子準優勝 県立横田高校 ○全国高等学校選抜女子セブンズラグビーフットボール大会 (3～4月) 優勝 私立石見智翠館高校 ○都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 (3月) 男子都道府県対抗優勝 島根県選抜チーム ○世界ユース陸上競技選手権大会 (7月) 女子メドレーリレー 3位 県立松江商業高校生徒 ○全国高等学校総合体育大会 (7～8月) 陸上棒高跳 2位 県立大社高校生徒 陸上女子 200m 2位 県立松江商業高校生徒 水泳(飛込)男子飛板飛込 2位 私立松徳学院高校生徒 他 15 種目で入賞 ○全国中学校体育大会 (8月) 陸上男子 100m 2位 出雲市立第一中学校生徒 ホッケー男子準優勝 奥出雲町立仁多中学校 ホッケー女子準優勝 奥出雲町立横田中学校 他 7 種目で入賞 ○全国高等専門学校体育大会 (8月) バレーボール男子準優勝 松江工業高等専門学校 バレーボール女子優勝 松江工業高等専門学校 ○スポーツ祭東京国民体育大会 (10月) 水泳飛板飛込少年男子 2位 私立松徳学院高校生徒 水泳高飛込少年男子 2位 私立松徳学院高校生徒 なぎなた成年女子試合競技 2位 島根選抜 ○全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会 (11月) 高校の部 48 kg級 2位 県立出雲農林高校生徒 ○全国高等学校弓道選抜大会 (12月) 男子団体優勝 県立出雲高校 <文化部門> ○第 13 回全国中学生創造ものづくりフェア 木工チャレンジ部門 (1月) 厚生労働大臣賞 雲南市立大東中学校生徒 ○第 6 回全国高等学校英語スピーチコンテスト (2月) 文部科学大臣賞・文部科学大臣杯 県立浜田高等学校生徒 ○第 66 回全日本合唱コンクール全国大会 (10月) 金賞 出雲市立第一中学校</p>
---	---